



みんなで前進、大きな飛躍 国民から愛される制度をめざして

茨城県行政書士会

会長 國 井 豊

いよいよ、名実ともに春本番。心地よい季節を迎えます。

皆さま、いかがお過ごしですか。会員の皆さまのご支援によって、役員一同、元気に会務にあたらせていただいております。大変有り難く、この場をお借りし、心より御礼申し上げます。

早いもので、今年度の事業執行も、残すところあと僅かとなりました。震災以降、なにかと慌ただしさを感じる日々でしたが、振り返ってみれば、行政書士制度にとって、大変意義のある一年となったような気がします。被災者のための無料相談や自治体への義援金贈呈をはじめ、それぞれの地域において、様々な立場から活動する行政書士の姿は、「頼りになる存在」「地域に根差した存在」として、大きな信頼と実績を得ることに、つながったのではないのでしょうか。まだまだ復興道半ばであり、これまでの経験と専門的知見を活かし、さらに社会に貢献することで、少なからずそのスピードアップに、寄与してまいりたいと切望します。

ところで、すでに会報等によってお知らせいたしました通り、新公益法人制度への移行に伴い、茨城県から関連業務を受託することができました。自治体からの業務受託は、初めてのことであり、プロジェクトチームの皆さんによる献身的な努力の賜物です。さらに、そのがんばりが、もっと大きな実を結びました。新年度、予算増額のもと、再委託を受けることとなったのです。一連の出来事は、私たちの制度の推進に大きく貢献し、会にとっても名誉といえます。

チームの皆さんに対し、心から感謝と敬意を申し上げますとともに、さらなる飛躍を期待いたします。

一方、業務に対応した組織の再編を試み、一年が経過いたしました。試行錯誤の部分もありましたが、ほぼ計画通り事業も進捗し、一定の成果を得ることができました。これまでの歩みをしっかりと総括し、24年度は所期の目的に沿って、積極的に活動を展開したいと思います。また、予算につきましても、業態別の新方式で編成し、機能的で効率的な運営を心がける所存です。会員の皆さまの一層のご支援、ご協力を伏してお願い申し上げます。

これからも一致結束し、国民から愛される行政書士制度をめざして、共に精進してまいりましょう。

